

総合計画策定市民懇話会 < 第 4 回 > 議事概要

日時：令和元年 5 月 31 日（金）18:00～20:15

場所：北広島市役所 3 階 3D 会議室

1 開会

事務局：（開会）

座長：（挨拶）

2 地区別の将来像に係る意見交換

事務局：（資料説明）

北広島団地地区

座長：地区の基本方向、方向性等を話していきたい。まず、団地地区にお住まいの方にお話しいただきたい。

構成員：団地の中は驚くような高齢化で、60 歳以上がたくさん住んでいる地域になっているが、私の住む第 3 住区は活発で、敬老会や高齢者との交流も盛んに行われている。四恩園が「ふれて」等、集まれる拠点をつくっており、社会福祉協議会では各自治会に、お茶の間という食事やおやつを食べながら集まれる場をつくって広めている。また、福祉委員会の活動や、市で補助をしている温泉旅行も利用している。今後は、高齢者の運転免許のことが話題になっているが、人口減少によるバス路線の減少もあり、何か良い方法があれば良い。

構成員：私は第 2 住区におり、昨日も「ふれて」で世界遺産の講座に大体 20～30 人ぐらい集まっていた。第 2 住区も自治連合会で様々な行事があり、住民同士の交流は活発的である。星槎道都大学の学生とチームテトルというグループで、この団地地区の高齢化に伴う買い物難民の予備軍をどうするか、年に 2、3 回議論しているが、要介護支援等の社会的問題がこれから表に出てくる地域である。今後は、まず買い物のしやすさが重要であり、多くの人達は移動販売車の「おまかせ便カケル」を利用しているであろうが、基本的には駅前にバスで買い物に行っている状況である。

「さんぼまち」との愛称を今後、市のまちの顔として発展させるためには、商業施設の誘致が重要である。例えば、第 3 住区において幾つかのお店があれば、そこで買い物が済み、地域住民との交流も生まれる。今はそれがなく、駅前の方に行かなければいけず、団地内における経済的な循環が薄いのではないか。住民同士の交流は比較的良いと思うが、地区内における経済的な不便さが心配になってくる。

構成員：高齢化が進むのはなぜか。子どもが同居せず、出ていってしまう現象があるのか、原因は掴んでいるのか。

事務局：北広島の合計特殊出生率が 1.09 であり、全国平均よりも低い。一方で各種施策の展開により、前年度は社会増となった。したがって、子どもが生まれてこないことが問題としてある。

事務局：振り返ると、10～15 年前に出ていった子どもの数が圧倒的に多い。進学で出ていき戻って来ていない方の親が、現在 70～80 歳である。現在 40～50 代の年齢層の方は、

北広島で育ち、市外へ出て行って戻って来ておらず、その下の世代が入り始めているという現象かと思う。

構成員：そういった事情の他に、元々道営団地、公営の住宅地域のつくり方にまず問題があり、一遍に造成し、一遍に入居するため、同じように歳をとり高齢化していく。最初につくられた東京の多摩ニュータウンが良い例で、それが全国的に広がっており、必ず同じ時期に高齢になる。千葉のユーカリが丘という民間のデベロッパーがつくったところは、造成後に一遍に人を入れず、毎年決まった人数を分けて入れて、同時に高齢化しないようにしている。

構成員：北広島団地の居住者は、ついの住みかという考えで住宅を建て、住んだと思う。我々、部外者がその再開発について安易に言えない。実際に住んでいる北広島団地の住民の考えを聞きたい。手の打つ方法はあるのか。

構成員：高齢になってから出ていく方が多く、札幌のマンションに移るという方もいる。一戸建ては修繕も必要となり、無理して家を建てずにマンションに入っていれば良かったと、一軒家が重荷になっている方も多い。私の地区は若い方が多く入ってきている。最近では、退居した方の土地を2区画に分けて使われていることもある。

事務局：市民意識調査を実施し、今の場所に住みたいと回答した方は54%、地区別に見ると、北広島団地地区と東部地区の方の住みたいという割合が少し多い傾向にある。年齢別で見ると、住みたいという回答割合が最も多い年代が70歳以上の方々で、その年代の中で67.4%の方が住みたいと回答されている。

構成員：やはり住みやすい。買い物がしづらい等の問題はあるが。

構成員：第3住区はコンビニが2つ利用でき、一般のお店のように野菜でも何でも買いやすい。

座長：町並みが公園のようで、高いところにあり、駅も遠くなく、本当に素晴らしい地区だと思う。だから、今の場所に住みたいという気持ちが強いのであれば、その方向でまちづくりをするべきだろう。高齢者が多いなら多いなりに良いまちにしていけば良く、この地域の特色になる。

構成員：団地地区で交通の便が悪く病院に行くのが難しいのであれば、北広島駅周辺に高齢者のまちをつくと、駅も病院も行ける、買い物もできる。また、団地地区の空き地を利用し、若者が住みたいと思うデザイナーズの建物をつくる。住みたいと思わせる策をすれば、自ずと車を持つ若い人達も住むようになるのではないか。他に、青森山田高校のようなスポーツ学校をつくと、家族で引っ越してくるのではないか。

構成員：「いこ～よ」、「ともに」、トリムコースは自然が豊かでとても良いところだ。札幌の円山のように、買い物をするところはないが、高級風の付加価値を付け、坂道があり、小高いところに家が建ち、木々が美しく、素敵なお洒落なカフェやペンションがあると良い。エルフィンロードとトリムコースが繋がると良いが、自転車で来た方がお洒落なペンションに泊まって食事をし、綺麗な自然があるといった高級のイメージにしても良い。

東部地区

座長：東部地区にお住まいの方から、現況等をお話しいただきたい。

構成員：今後、ボールパークができればどうなっていくか期待感も不安もある。ポイントは東の里の遊水池の利活用であり、自然の良さをうまく活用する。また、車で栗山へ抜けても、千歳へ抜けても非常に利便性が高く、周辺の観光地との中継的な役割を果たせると良い。

定住人口を増やすのは非常に難しいが、興味を持ってもらえる施設をうまく配置し、流入人口を増やすことはできると思う。団地地区の住民も一緒に利用して便利になり、住みよくなるまちがつかないか。ボールパークができるのと同時に、構想を持っていないと崩れてしまい、魅力のないまちになる。

構成員：私は共栄に住み、公共施設等も近く、非常に便利で良い。ボールパークの建設地の奥にレクの森があり、鳥の声が聞こえ、輪厚川にサギやカモ等が寄ってくるのを見ている。東部は市内で唯一、川も鳥も農耕地もあるが、経済活性化の部分では課題があるイメージだ。

構成員：歴史的には東部地区が広島村の最初の礎になったところで、団地へ開発が広がったと考えて良いか。

構成員：大曲の輪厚地区、36号線を琴似街道といって、明治6年に産業道路として苫小牧へ延びたが、その開発の方が早かった。和田郁次郎が明治16年で、酪農関係においては、明治6年に輪厚、大曲地区に一時的に工場等があり、それ以降こちらに移った経緯がある。

座長：それは、JRの影響が大きかったのか。

構成員：鉄道ができて、一気にこちらの発展が増していったと思う。

構成員：東部の不利なところは、北広島全般にも言えるが、面積が広い割に他の地区、例えば団地とほぼ人口が同じであり、市全体の住宅地の面積と恵庭市の面積を比較すると、然程変わらないことだ。実際、恵庭との人口の差は数万人だが、恵庭の商業施設を含めた発展性と比べると、大きな差がある。ある程度人口の集積がないと、お店がなく、用を足すのに困るといった不便さが出てきてしまう。その反面、緑が多くて住みやすいという面と相反するが、人口の集積度が余りにも低い。

千葉には駅前に高層マンションが幾つかあり、その住宅地のエリアの奥に住んでいる高齢者は、いつでも駅前に引っ越せる仕組みがある。明日引っ越したいと言えば、民間のデベロッパーが即金でその家を購入し、追い金数百万で駅前のマンションに引っ越せる。駅前のマンションには、徒歩圏内に病院や用が足せる施設が全て揃っている。住民の意識も変わっていかないといけない。家を建てた以上、ついの住みかですっと住みたいと思うだろうが、住み方の流動性を考えていくと、意識改革になるのではないか。

栄町に住んでいるが、近所には一人で複数軒の家を持っている方が多く、空き地も多い。しかし、家も土地も売らない。持ち主は高齢化により施設に入り、賃貸は良いが売りにたくないと言い、子どもとしては売却したいと考えている。間に入っている不動産会社が右往左往している状況で、物件が空いているにも拘らず、不動産自体の流動性がない。特に、広葉町1丁目は、最初に等価交換という理由で移った方が多く、多くが200坪である。高額な土地を買って引っ越してこようという人はほとんどいない。土地を分けて売るにして

も、間口が狭くて奥行きがあるタイプの長方形であり、縦長の土地を二つに分けることになるため売りにくい。

せっかく環境が良いと言われているが、若者に来てもらうには、まず、手頃な値段で住みやすい家を用意しなければいけない。便利さとしては、例えば、駅付近に子どもを預かる場所があり、御夫婦で通勤の際に子どもを預け、夜も遅くまで預かってくれる。そういった今すぐできるようなことがあれば良い。

構成員：駅前に保育園や子どもを預かれる施設があったら良い。

構成員：駅前の駐車場や浄水場跡等の市有地で、住民をサポートする施設、市民全体で相互に助け合う施設があると良い。

駅前のマンションに、高齢者が入るというのも利便性があるが、考え方によっては、昔の姥捨て山的なイメージがあると思う。スペインの太陽海岸、コスタ・デル・ソルのシルバーコロンビア計画では、スペインの姥捨て山と言われ失敗している。世代を分散し、高齢者が健康寿命を楽しめるよう、各地域のコミュニティーセンターがその役割を担えると良い。

構成員：団地地区内にある既存の交流施設は子どもたちも来れるような場も設けており、高齢者だけではないというイメージを持っているのでとても良い。

大曲地区

座長：大曲地区に住まわれている方、現状報告をどうぞ。

構成員：大曲地区は、元々田んぼがあったところから道路ができ、10年前でも羊ヶ丘通はもっと短かった。人口増加、車通りも増え、排気ガスが増えてしまい、昔から住んでいた方は自然がなくなった、蛙も鳴いていたのにという話をすることもある。近年は若者が新しく家を建て、年齢のばらつきが出てきた。それが今、とても良いように働いていて、近所同士で子育て中の方に話しかけていたり、町内会で様々な意見が出たりと、世代が混ざるのは良いことだと感じている。経験のある方から様々なことを教えてもらい、若い方は力を発揮できる。それがちょうど今、混ざりつつある。

事務局：大曲の高齢化率は、65歳以上で25.3%、市全体では31.6%である。西部と大曲は低い。

構成員：大抵買い物に行くのは、インターヴィレッジ大曲かジョイフルエーカーで、36号線や羊ヶ丘通は車が多く、渋滞は嫌なので週末は避けるようにしている。

座長：それで輪厚のスマートインターチェンジが使いやすい。

構成員：週末は平日と全く違い渋滞する。夏は霊園のある里塚まで渋滞する。渋滞が解消すると嬉しい。大曲地区の商業施設に買い物に行くときに、道道栗山北広島線以外の輪厚を回っても行き来できると思うが、道道栗山北広島線が非常に混む。36号線と高速道路が交差する短い間で混むが、クリーンセンター側の道をもっと活用してもらったら良い。

座長：大曲辺りの魅力は何か、お店やレストラン等あるか。

構成員：アウトレットやインターヴィレッジ大曲で大体用が足せて、病院となったら清

田区に行く。

構成員：大曲の工業団地はほぼ売れたと聞いているが、実際に何社が買って今操業しているのか。

事務局：170 弱程の企業が操業している。

座長：この工業団地が操業しているから、大曲の人口が増え続けているのか。

事務局：実際、この大曲工業団地の中の市内雇用数は多くない。北広島市の特性として流通系が多く、札幌から通う非正規雇用者が多い。札幌に近いという利便性と、地価の安さ、隣が清田区ということもあり、大曲に若者が入ってきている状況ではある。

構成員：大曲の住民は札幌の里塚の延長で、札幌市大曲区のようなイメージがある。その差別化があった方がよい。

座長：逆に言えば、札幌市内と同じぐらいの利便性があって、住み良い地域とも言える。

事務局：但し、行政界を跨ぐので、バスの料金が上がる。

構成員：北広島市としてのバスは三里塚小学校で終わり、高校生は大曲から自転車で行って、里塚に自転車を置き、そこからバスに乗っている。

構成員：行政界を跨ぐとバス料金が一気に上がる。虹ヶ丘もそうだ。札幌市に入って乗り継ぎ券をもらう。

構成員：北広島にバスの助成が余りなく、札幌の敬老パスのような制度が北広島も作れないのかという話がよく出る。

事務局：北広島で札幌と同様に助成すると年間 2 億程の経費が発生する。札幌では 70 歳以上が対象で、自己負担を一部入れている。札幌は路線網が充実しているが、北広島のように団地の中をつなげる路線だけで果たして乗っていただけるか。

構成員：以前、バスに乗車すると、市内のお店のコーヒー代が割引になるなどといったサービスがあったが、どのぐらいの利用があったのか。

事務局：地域住民が自ら行っていただいた制度であり、全体で 1 割程の乗車人数の増につながったが、結果的には普段乗っている方が 2 回乗っていただいたというもの。

現在、団地の子どもたちにバスの乗り方教室を実施しているが、バスに乗ったことのない小学生が圧倒的に多くなっている。ターゲットを子どもたちに絞って、バス利用の利便性を訴えている。

構成員：大曲のくるるの杜は、利用者が多いのか。もっと利用してもらえればと思う。

事務局：かなり多く、グリーンツーリズムの一環でツアーの中にも入っている。

構成員：今、インバウンドも入っている。

事務局：三井のアウトレットでも、レジを通った人数が 600 万人で、その周りの人数も

考えるとかなり多い。

構成員：大曲の住民は、市役所関係の用事は、基本出張所で済ませてしまう。

構成員：くるるの杜は道の駅の代わりようだ。野菜が売られ、食事ができ、ソフトクリームが食べられる。

事務局：くるるの杜が設置される当初、道の駅へという話も出たが、24時間利用可能なトイレを付けなければならず、農作物の関係もあって断念した。キャンプで泊まってしまいうことも考えられたため、採用されなかった。

西部地区

座長：では、西部地区について聞きたい。

構成員：私が住んでいる地域は山の方で、人口が少ないところだ。自然がとても豊かで、農地も多く、昔から変わらない景色があるそうだ。ゴルフ場もあり、夏場は人の出入りが多い。生活するためのスーパー等がなく、皆ローソンに行っている。

構成員：この地区は車がないと厳しい。島松沢といって、駅通所にクラーク博士の別れたところの碑や、元バス停、蓮の池が小さくなったがある。エコミュージアムの構想を入れて発達したのではないか。この駅通所をもっと活用して売り出せないか。北広島にある国の史跡はこの一つだけだ。

構成員：明治天皇が来られた部屋がある。

構成員：元々交通の要衝だった。

座長：昔は、月寒村があって、その境目でまた村があって四里塚の集落があった。天皇陛下が一回ずつ休憩をしながら行かれたという史跡だ。

構成員：お米の発祥の地でもある。ここに中山久蔵がいた。

座長：大曲の由来が、天皇陛下が行幸中に休憩なさったときに、地元のお百姓がとても良い接待をしたので、この土地を差し上げると仰ったという話を聞いたことがあるが、それによって道路を真っ直ぐに出来ず、大きく曲がったから大曲と呼ばれた。

構成員：道路が整備され、36号線が良くなって、一番肝心の駅通所が外れてしまった。そのため、道の駅をつくらうという地元の人たちが一時運動をしていた。

事務局：今も、36号線沿いに道の駅のような機能ができないかという活動している方がいる。

構成員：島松川の源流で、野鳥の宝庫となっており、写真を撮る人はここに来るみたいだ。36号線の一番小高いところから向こうの島松沢を見ると結構良い眺め。坂がずっとあるという。

構成員：7～8年くらい前から、観光タクシーが顧客を乗せて、空港との時間調整で島松

沢の駅通に連れて来ている。

座長：もっと自然を楽しむ観光を売り出せば良い。泊まるのは団地のペンションに泊まって、温泉に入る。駅通所は、市民は知っているのかもしれないが、全道的には知名度が低い。

構成員：現地学習で行くことは多い。

座長：清田等から、小学生のバスツアーを呼び込めば良い。

構成員：学校のカリキュラム的に、駅通所だけではボリュームが足りない。大抵は大曲地区の工場と合わせている。

事務局：駅通に関しては、駅通本体の保存、活用への改修に入るため、文化庁の指示を受けている。見学後に周りに何もなくて、何か仕掛けをつくれぬか画策しているが、賑やかになり過ぎることも懸念し、その兼ね合いが必要。一大観光地にして、何万人も訪れるようになるのも問題であり難しい。居住エリアと、その西側、南側のゴルフ場があるエリアは地域性を持っており、他の地区とは傾向が異なる。

構成員：自然を大事にしたい。クワガタのいるところもたくさんの観光客が入ったらもったいない。

事務局：掘っても良い水が出ている。

事務局：北広島霊園に中山久蔵のお墓もある。

構成員：この駅通所の管理は市から委託を受けて、シルバー人材センターの会員が管理を行い、丁寧な説明もしてくれる。

構成員：テレビ局も取材に来ると、その達者な喋りが気に入られ、出演依頼もある。島松軟石が採れていたなので、軟石を使った施設等で展開されると良い。

西の里地区

座長：西の里地区にお住まいの方、報告をお願いしたい。

構成員：住み始めて16年間、全く不便さを感じない。空いている土地も殆どない。子どもが減ってきており、小学校、中学校で3クラスから2クラスに減ってしまっている状況だ。最初に家を建てた方の子どもが進学等で市外に出ているのではないか。同じパターンが虹ヶ丘のほうに始まってくると思われる。但し、若い人は入ってきており、住宅を建てている。

交通の便は、15分歩けば上野幌駅があり、新札幌行きのバスもあるため、然程不便を感じない。

虹ヶ丘住民は、西の里住民との交流は余りないが、お祭りは合同で開催している。西の里地区は、特に高齢者が増えている。

スーパーは下の方にフードDがあるが、上の方にはない。国道側にローソンとセイコーマートがある程度。

学生が多く、国道からの抜け道として中学校通りを使う人が多く、勢いよく走ってくる

車が多過ぎて、危ない車は何台も見た。

構成員：ハマナスは元々八百屋がされていて、今でも食料品が多い。

座長：温泉が2カ所ある。

座長：ここは大曲と同じように厚別区に隣接するが、厚別区との関わりはあるか。

構成員：厚別区民との関わりはほとんどないが近い。新札幌駅があり、通勤で地下鉄を利用している。

構成員：西の里地区は障がい者の施設があり、ノーマライゼーションの部分で進んでいる。障がい者の住宅もあり、地域住民の理解も得られ、北海道リハビリのお祭り等も大変賑やかだ。

事務局：北広島西高校でもノーマライゼーションに関する活動をしている。

構成員：西の里小学校にエコクッキングとして教えに行っているが、エコに対して熱心な小学校だ。

構成員：北広島西高校も福祉関係の取組で、冬に高齢者宅の雪かき等を行っていて感心する。

座長：北広島西高の生徒はバスで通っているのか。

構成員：スクールバスがある。新札幌と、大谷地から出ている。

構成員：大曲から自転車で行っている生徒は、植木村の道を抜けている。

構成員：今も柏葉台の方から北広島西高行きのバスがある。

座長：この辺りは福祉のまちになるか。

構成員：高齢者施設も聖芳園という大きい施設があり、北海道リハビリも大きい。

座長：子育て関係施設もあるのか。

構成員：保護者の間では、虹ヶ丘は、日大や立命館に子どもを入れたい人が引っ越してきているという噂があり、西の里小学校の保護者は勉強に熱心といった話がPTAで出ている。

座長：子育てと福祉のまちになるか。うまく雰囲気醸し出せば良い。

構成員：文教都市としてはどうか。

座長：文教都市は良い。

市全体

座長：今、5つの地域を個々にお話をしてきたが、地域というのは相互に交流があり、一つではくれないものや、お互いが補完するものもある。その辺りで何か発想等あれば聞かせていただきたい。

構成員：平岡のイオンでバスを出してくれているが、大曲インターヴィレッジのアークスでも買い物バスがあると良い。そうすると渋滞を緩和できるのではないかな。

構成員：アウトレットができたときに、共同のバス運行について提案があり、アウトレット側は賛成だったが、アークス側からは、東部地区は誰が負担をするのかという話になってしまった。平岡イオンは、自社バスが運行している。

構成員：買い物バスは無料か。100円くらい払うのかな。

構成員：完全に無料のところもあるし、格安にして回しているところもある。

構成員：100円とかでも良いのではないかな。100円で乗り放題。

構成員：渋滞緩和策をその商業施設がしているかどうかとも問われるため、対策しているが渋滞してしまうという、手は打っているというポーズも必要だ。

構成員：それと同じことが、ボールパークができればまた起きるのではないかな。

座長：アウトレットとボールパークでバスをピストン運行させると、他の地域が何でここに来ないのかという話になる。逆に、アウトレットであれば、アウトレット経由で、札幌市内も経由して西の里に行ける。そういうラインが何本かできたら良い。

構成員：羊ヶ丘通はこの先、どこかにつながる予定はあるかな。

事務局：恵庭までつなげるよう北海道と協議検討を進めている。恵庭と連携活動を続けており、最終的には道道江別恵庭線につながると良いと考えている。

座長：この羊ヶ丘通の先が、輪厚スマートインターに向けて進められている。

構成員：渋滞しているのは輪厚のところも渋滞しているので、延伸されれば良い。

座長：頑張ればもう1本、細い道が行けるだろうか。

構成員：原野商法で用地買収がかかる。また、環境アセスメントで希少動物がいる地域だ。

座長：5地区が分散していることについての意見はどうか。私は個々の地域に独自性、地域の特色をつくっていった方が良いかと思う。

構成員：西の里は文教地区、北広島団地地区は高台の高級住宅街、大曲は商業を中心とした地区という位置づけが良い。

座長：東部地区は都心部。西部地区は自然。それぞれの地区の色を濃くしていき、まちの中に様々な特色があり、そこに行く必要性を感じる。北広島に住んでいるが、それぞれの別の地区に行く価値を感じる。市民が廻って楽しむことができる。市民が楽しいから、その結果市外の方も来る。同じ観光のつくり方でも、中に向けた観光があっても良い。

構成員：今パンが流行っているが、北広島でも美味しいパン屋がある。地区ごとにパン屋があっても良い。

構成員：「各地区の地域ブランド化」を行うべき。

構成員：この5つに分かれていることを利用して、小中一貫教育を進めている。効果は既にあり、子どもたちが落ち着いて小学校から中学校に移行し、馴染めるようになっている。

座長：地区が5か所あるから、1月に1回ずつ、お祭りの開催を回して、年に2回くらい当番が来る。皆1月に1回は、どこかの地域に行ってみるのも面白い。

構成員：団地の道路は袋小路で車が行けないような形になっているが、その不便性はどうか。

構成員：泥棒が入ってもすぐ捕まえられるようになったとの声もあるが、不便といえば不便。

構成員：完全に歩行者と道路を分離した住宅地がモデルの系統である。極力歩行者と車を合わせないようにしたつくりだ。

構成員：団地地区は、田園都市構想をもう少し前面に出したら良い。住民の快適性が一番だが、外から人を呼ぶ、外から稼ぐ力というのが絶対必要だ。住民の快適性プラス稼ぐ力、その稼ぐは、我々市民のアイデアを結集しなければならない。

座長：例えば商工会で、地域ごとにカラーリングをつけた強化策を打ち出して、意図的にパン屋ならパン屋をつくっていく等、プロジェクトはできないか。

構成員：商工会で開拓プロジェクト委員会というのをつくっており、まちおこしに関することは何でもやるというものであるが、その中でパン屋が幾つかあり、例えば赤毛米の米粉を使ったパンを一緒につくってもらえないか等のお願いをしている。

構成員：消費者協会では、地産地消料理コンテストを開催したが、応募は110件以上であった。

座長：大曲と西の里は、札幌に隣接している。美しが丘の地区センターは、北広島市民の利用も考えた上で地区センターをつくった部分もある。それで、駐車場は裏側に何十台も置けるようにした。

境目を越えたメリットを北広島のメリットとして考えても良い。土地が安いと固定資産税も安く、同じ利便性を持っていながら、北広島に入ることによって、子どもの教育環境は良くなり、お金は使わなくなり、と良いことが多くある気がする。

構成員：有り難いことに、清田区の病院に行っても北広島の子どもの医療費助成の受給者証が使える。

構成員：西の里地区は福祉施設が多く、向陽学院という女子の施設がある。市内に施設があることを理解し、子どもたちにも温かい目を向けられる地区だということを感じておいていただければと思う。

構成員：昔から福祉施設があったから住民の理解があると思う。

座長：空き家が団地地区に増えているようだが、団地地区以外ではどうか。

事務局：団地地区は空き家が最も多く 113 件。それ以外は、大体 20 から 60 件程度である。

構成員：調査方法は、目視による確認か。

事務局：1 年以上、水道が使われていない家という確認方法である。空き地は入っていない。

事務局：割と良好に管理されている空き家の件数である。皆様が心配されるような、危険な空き家は 2 軒程度である。

構成員：まだ団地内では、商業化は規制されているのか。

事務局：団地の中その外周は、コンビニエンスストアができる用途に緩和したが、所有者が実際の用途を考えるため、直ちにコンビニをつくりなさい等はいえない。

元々の各住区制で、住区の中に学校とショッピングと住宅をつくったのが崩壊していった。用途を変えると環境が変わる。総論では良くても各論でいくと別の事柄が生じ、この狭間をどうするかがこれからのまちづくりの肝だ。皆様各地区の色を出していただいたので、そのような方法はあると思う。

構成員：商売としてやるのには、基本的に、例えば 1 キロ圏内の人口密度で検討する。北広島は、そういった意味では全然商売にならない人口であり、何らかの形でやるのであれば、外から客を呼べるような計画をしないとどうにもならない。

事務局：生活利便性の良い施設の維持と、人を呼ぶための賑わい、その棲み分けをどうするか、地域の頑張っている人達についてどう発信していくか考える必要がある。

座長：ボールパークもできるので、駅を越えて、北広島団地地区や東部地区の中で滞留できるようになれば良い。

事務局：せっかく良い店をつくっても、駐車場が無ければ路上駐車して近所から苦情が来て、撤退せざるを得ない状況にもなり得る。

構成員：東部地区は、余りそういう規制はなく、逆に規制しないと。
「さんぼまちの唄」は駅のホームで流せないか。提案できないか。

事務局：JR やバスで流せないか検討している。

3 次回（第 5 回）の意見交換分野について

事務局：次回は、本懇話会としての報告書についての意見交換をお願いしたい。

4 その他

事務局：次回は6月19日18時から開催する。次回もよろしくをお願いしたい。

5 閉会

座長：（閉会）